

白藍塾オリジナル

2025年度 入試小論文分析&解答のヒント

2025年3月発行

白藍塾の入試小論文分析は、他の予備校と違って、その問題に対して受験生がどのようにアプローチすればよいのかを具体的に説明している。そのため、この分析を参考にすれば、誰でも合格レベルの答案を書けるはずだ。該当の大学・学部の志望者は、ぜひ、これを読んで、自分で実際に答案を書いてみてほしい。

執筆・大原理志

● 慶応・総合政策学部

複数の資料の活用が求められているのは例年と同様だが、今年度は「人間」のあり方という抽象的な問題がテーマになっている点が例年とはかなり異なる。資料も、哲学や文学の古典からも選ばれていて、総合科学部としてはやや変則的。設問も、問1と問3は総合政策学部ではこれまであまりなかったタイプの内容だろう。

とはいえ、資料5～7では近未来のテクノロジーの影響や世界情勢について分析・予測されているし、問2はそれらを踏まえて論じる設問になっている。「人間」のあり方と言っても、あくまでも現代社会の状況や問題点との関連で考えることが求められている。

問1は、資料1～4を活用しながら「人間」とは何かを論じる問題。基本通り、最初に問いへの答えをズバリと示した上で、第2部以降で資料に触れつつ、自分の考えをくわしく説明するとよい。「貴方が貴方に与えられた生きる時間を費やして目指したい『人間』の在り様も併せて述べること」と設問にあるが、要は自分の目指したい「人間」のあり方を問いへの答えとすればよいので、あまり難しく考える必要はないだろう。

SFCのホームページなどを読んでいれば、SFCの求める人間像・学生像はわかっているはずなので、それを踏まえて考えると書きやすい。資料はもともと抽象的な内容のものが多し、答えとの関連付けは後付けで十分だ。

問2は、「『人間』は『未来社会』でどう生きるべきか」を論じる問題。ただし、設問には「資料5に表現された『未来社会』を批評したうえで、貴方の考える『未来社会』の特性に言及すること」とある。

資料5は、AIなどの最先端テクノロジーが未来社会に与える（主に）プラスの影響について述べている。それに対し、資料6・7では、世界情勢の今後の動きについて負の面も含めてより現実的なシナリオを提示している。

設問の注から見て、資料5のやや楽観的な未来社会像をそのまま受け取ることはできないので、資料6・7の内容と突き合わせながら、自分なりの「未来社会」像を最初に提示する必要があるだろう。そして、その中で「人間」がどう生きるべきかをズバリと示す。あとは基本の「型」に従ってまとめられるはずだ。

もちろん、カギカッコ付きの「人間」というのは問1で自分なりに定義した「人間」のことなので、そこに矛盾が生じないように気をつけることが大切だ。

問3は、要するに、自分が学生としてSFCでどう過ごすべきかが問われている。「『未来社会』において『人間』の先導者を目指す学生～」と設問にあるが、問2で予測した「未来社会」に向けて、問1で定義した「人間」として学生の時期をどう過ごすつもりか、ということが問われていると言っているだろう。

ここでも、重要なのは、問1・問2の答えの内容と矛盾しないこと。また、当然のことだが、SFCの求める学生像とずれた内容を書かないように注意する必要がある。この種の問題は、SFCの学生としてふさわしい資質があるかどうかを見るという面があるので、その点は十分意識して考えることだ。

* 執筆者の許可なく本紙の全部もしくは一部を無断転載、無断複写することを固く禁じます。

発行・白藍塾総合情報室(03-3369-1179) <https://hakuranjuku.co.jp>